



2020年度 新卒業生アンケート集計結果のご報告

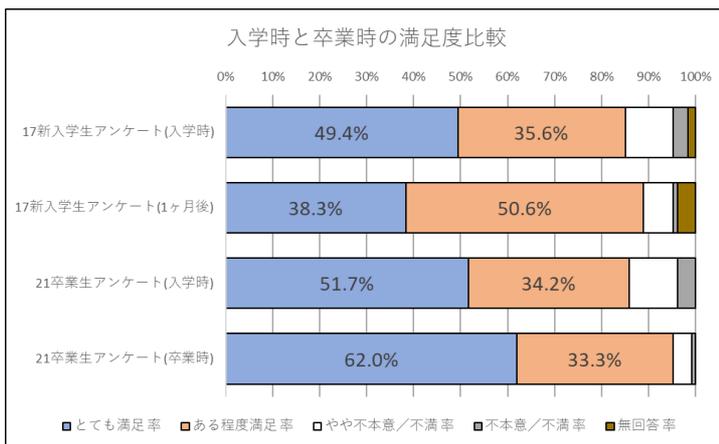
2021年3月の卒業式前後に、2020年度の新卒業生に対するアンケートを実施いたしました。本アンケートは例年、広報・社会連携部広報課とミッション推進会議、学務部の合同で満足度や成長実感を尋ねているものです。

本年度は新型コロナウイルスの関係で、卒業式や卒業週間の各種行事が例年と形を変えての開催となりました。そのため、例年はアンケート用紙を配布・回収しているところを、本年度は昨年に引き続きオンラインの回答フォームでの実施・回収となりました。そのため、回答率なども大きく異なるため、数値や率は他年度と直接比較できませんが、大学としては、いただいた意見やデータを真摯に受け止め、改善を図っていきたくと考えており、アンケートの全項目の集計結果と記述部分は学内各部署に回覧しました。

新卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。(アンケート回答率 43.0%)

広報・社会連携部広報課、ミッション推進会議、学務部

入学時と卒業時の満足度比較



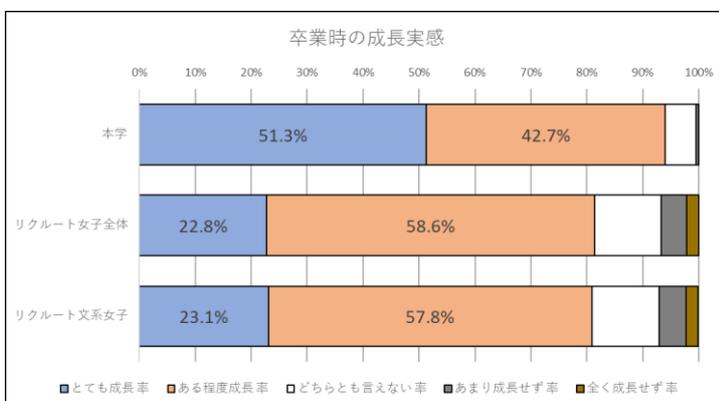
多くの新卒業生が入学した2017年度の新入学生アンケートとも比較した。

17年入学時の満足合計85.0%が卒業時には95.3%と大幅に伸びている。

特に「とても満足」と感じている新卒業生が49.4%→62.0%と大幅増。

入学時の不満合計13.4%、1ヶ月後7.3%が、卒業時の不満合計4.7%と大幅に減少。人数的にも卒業時に不満は11名のみとなった。

卒業時の成長実感



卒業にあたり、どの程度、本学で自身が成長したと実感しているかを聞き、「卒業時満足度調査2015」リクルート進学総研調べと比較(リクルート調査結果は%のみ公表)。

特に「とても成長」が全国の文系女子に較べて28.2ポイント高く、「とても成長」実感のある学生比率が高い。それに伴い「とても成長」と「ある程度成長」の合計は、リクルート文系女子80.9%に対し、本学94.0%と相当

高く、卒業生が本学で学び成長したという実感をもっていることが分かる。

本学で社会的問題について活動した者と、していない者の満足度・成長実感

(3-a) 社会的問題について大学で活動した者の満足度と成長実感

	とても成長		ある程度成長		どちらとも言えない		あまり成長せず		全く成長せず		無回答		合計	
	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
とても満足	76	76.0%	21	21.0%	3	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	100	65.4%
ある程度満足	13	27.7%	32	68.1%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	47	30.7%
やや不満	0	0.0%	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.3%
不満	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
合計	89	58.2%	58	37.9%	6	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	153	100.0%

(3-b) 社会的問題について大学で活動しなかった者の満足度と成長実感

	とても成長		ある程度成長		どちらとも言えない		あまり成長せず		全く成長せず		無回答		合計	
	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
とても満足	25	56.8%	19	43.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	44	56.4%
ある程度満足	4	13.8%	18	62.1%	6	20.7%	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	29	37.2%
やや不満	1	25.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.1%
不満	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
合計	30	38.5%	40	51.3%	7	9.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	78	100.0%

「社会的な問題について大学で活動した経験」の有無も同時に聞き、「大学で活動した経験がある」学生と「ない」学生の、大学での満足度と成長実感を調査した。

- (1) 大学で活動経験学生の「とても満足+ある程度満足」合計 96.1%
 経験しなかった学生の「とても満足+ある程度満足」合計 93.6% 差 2.5%
- (2) 大学で活動経験学生の「とても成長+ある程度成長」合計 96.1%
 経験しなかった学生の「とても成長+ある程度成長」合計 89.8% 差 6.3%

「満足度」「成長実感」の「とても」「ある程度」合計で、社会問題について大学で活動した者の率の方がやや高い。

このうち、「とても満足」「とても成長」だけに注目すると、次のような差が見られ、大学で社会問題について活動した者は、しなかった者より「とても満足」「とても成長」した実感を持つ率が高いことが分かる。この傾向は過去の調査でも同様の傾向である。

- (A) 大学で活動経験がある学生の「とても満足」 65.4%
 大学で経験しなかった学生の「とても満足」 56.4% 差 9.0%
- (B) 大学で活動経験がある学生の「とても成長」 58.2%
 大学で経験しなかった学生の「とても成長」 38.5% 差19.7%

本学ではマグダレナ・ソフィア センターをはじめとし、学生が社会的な問題へ関心を向け活動するという面に、大学全体として力をいれている。これに応えた学生は視野が広がり、結果的に在学中の満足度が向上し、成長したという実感が得られているものと考えられる。

※ミッション推進会議アンケートで「あなたは社会的問題に関連して、次のような活動に参加した経験がありますか」の問いで挙げた次の11項目の活動で、活動した時期＝大学 と答えた者を集計。

- ①国内ボランティア活動 ②寄付(募金や物資) ③サークル(SHRET、MSSS他) ④NPO、活動団体での活動手伝い ⑤講演会参加 ⑥エコ活動(リサイクル・節水など) ⑦海外ボランティア活動 ⑧授業、卒

論での追求 ⑨イベントへの参加 ⑩スタディツアー ⑪その他活動手伝い ⑤講演会参加 ⑥エコ活動 (リサイクル・節水など) ⑦海外ボランティア活動 ⑧授業、卒論での追求 ⑨イベントへの参加 ⑩スタディツアー ⑪その他

意見・感想 自由記述(抜粋)

- ・「大学生活、楽しみ！」そう期待に胸を膨らませ入学式を迎えた日を思い出します。
優しく共に切磋琢磨できる友人に恵まれ、とても素晴らしい充実した4年間を過ごすことが出来ました。
“あなたたちは世界のどんな場所でも、その場に愛の灯を掲げる女性になりなさい、
このお言葉を一生忘れず、この先の人生をより豊かなものとしていけるよう、日々学ぶ姿勢を忘れず過ごしていきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。”
- ・4年間お世話になりました。恵まれた環境で、好きなことを学び、ご指導いただいたことを感謝しております。入学時よりも確実に自身が成長できたと感じております。
恩返しの気持ちを込めて、4月からの社会人生活をしっかりと過ごします。ありがとうございました。
- ・4年前、一般入試で第一志望の大学に落ちてしまい、泣いて泣いて聖心への進学を決めました。卒業を迎えた今、聖心で4年間学ぶことができ本当に良かったと思っています。たくさんの方に細やかな支援をいただき、ずっと前からの夢だった進路を実現することができました。社会に出てからは、周りの人を照らすことができる強い女性になることができるよう精進します。ありがとうございました。
- ・この4年間を通して、これまで逃げてきた自身の弱い部分と向き合うことのできる環境に身を置き、大きく成長することができたと感じています。聖心女子大学で過ごした4年間は、一生忘れることのできない宝物です。本学に関わる全ての方に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にお世話になりました、ありがとうございました。
- ・新型コロナウイルスの影響により大学4年生は先生や友人に直接会うことは出来ませんでした。授業をはじめ、様々なイベントをオンラインでの形で工夫して下さったので、今までとは異なる新しい形で、充実した時間を過ごすことが出来ました。
先が見えない日々が続きますが、後輩のみなさんもこの状況にめげずに大学で積極的に学ぶようにして欲しいと思っています。
大学で過ごした4年間はかけがえのない日々でした。
これまで私を支えてくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。
- ・誇り高き学び舎です。OGの方々が聖心を愛している理由が改めてよくわかりました。
私も、もし子どもや親戚の子どもが出来たら、我が母校、聖心女子大学への入学を勧めます。
- ・高校生の時に聖心女子大学の1年次で幅広く学び、2年次から専攻に進むという教育方針や、オープンキャンパスで学生や教職員、大学の雰囲気をついへん魅力的に感じ、第一希望にしました。今は聖心女子大学で学ぶことができ本当に良かったと思っています。今まで本当にありがとうございました。
- ・今できることを、今日一杯すること。これがいちばん大切だと、コロナウイルス蔓延による行動制限を経験してみて強く感じました。それまでは、「〇年生で〇〇しよう」という風に視点を未来に置いて考えていましたが、その未来は自分の思い描く未来ではないという事が容易に起こり得る事を経験しました。
とにかく思い立ったらすぐ行動。物事に遅いなんてことはありません。できるだけ早く動いてみるということを、是非意識しながら大学生活を送ってください。

どんな状況でも、みんな同じと思えば動く気力が出てくると思います。その状況下でどのような選択を取れるかが皆さん個人の持ち味です！ 楽しい学生生活になりますようにお祈りしています。

- ・私は聖心ではない小中高一貫で育ったため、入学する際、友人が出来るかとても不安でした。聖心生の中でも内部生と外部生で派閥があるのではないかと、女性社会で怖い雰囲気なのかなどと不安がありました。

しかし、入学してみると内部生の子とも分け隔てなく仲良くなれ、良い友人も恵まれ、本当に楽しい4年間を過ごすことが出来ました。大学生活を支えてくださった先生方、先輩後輩、そして友人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

- ・振り返ってみると、自分は大学生活で大きく変わったと言えることが出来ると思っています。高校生まではなんとなく自分で勝手に敷いていたラインから出ることが出来ずにもがいていましたが、大学に入学してからは友人や先輩方、先生方、何より聖心女子大学の学びに対する考え方や環境により自分の殻から抜け出し、自分に自信を持ち、可能性を信じて前に進むことが出来ました。

教職員の皆様をはじめ、大学での全ての出会いに感謝しています。これから社会人となっても、ここでの学びを忘れずに、また活かしていきたいです。

昨年より、コロナウイルスの影響で授業の方式が大幅に変化し、私たちが入学した当初のような自由な学びが少し制限されてしまっているようにも感じますが、後輩の皆には自分たちの可能性を閉ざさずに自由に自分たちの興味関心の追求を行って行って欲しいと思います。

そして、どのような環境でも学ぼうという強い意志があれば大きく成長できることを伝えたいと思います。

また、教員の先生方にはこのような状況の中大変恐縮ですが、私たちの時以上にこれから学生の皆さんが様々なことを楽しく、自由に学べるような環境を整えていただきたいなと思います。

改めて4年間、本当にありがとうございました。

- ・入学式に参加したとき、「私にはこの大学は合わない。入学しなければよかったかも。」と思いました。しかし、卒業を迎えた今、入学は正しかったと実感しています。

不本意な進路、学科決定など自分が思っていた道とは違えど、腐らずに、置かれた場所で全力を尽くし、花を咲かせることの重要性を学ぶことが出来た学生生活でした。それによって、自分ではわからなかった自らの可能性を知ることが出来たように思います。

私は一年の留年によって周りに遅れをとりました。しかしながら、私にとってこの一年は不可欠な一年だったと強く実感しています。その一年諦めなかったことで、より学びを深め、自分が望んでいた業界に進むことができました。

もし後輩の中で進級や卒業が危ぶまれている人がいたら、是非諦めず、最後までやり抜くことを強く強く勧めたいと思います。5年間ありがとうございました。

- ・様々な方と接することで、私自身の人間性がすごく成長したと実感した4年間でした。

教授や大学の事務員の方々、先輩、後輩、友人、関わる全ての方々から新しい価値観や考え方を教えていただき、実りある豊かな時間を過ごせました。ありがとうございます。